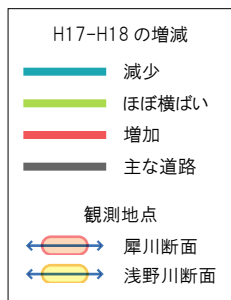


金沢都市圏の自動車交通量

● 現況交通量の動向

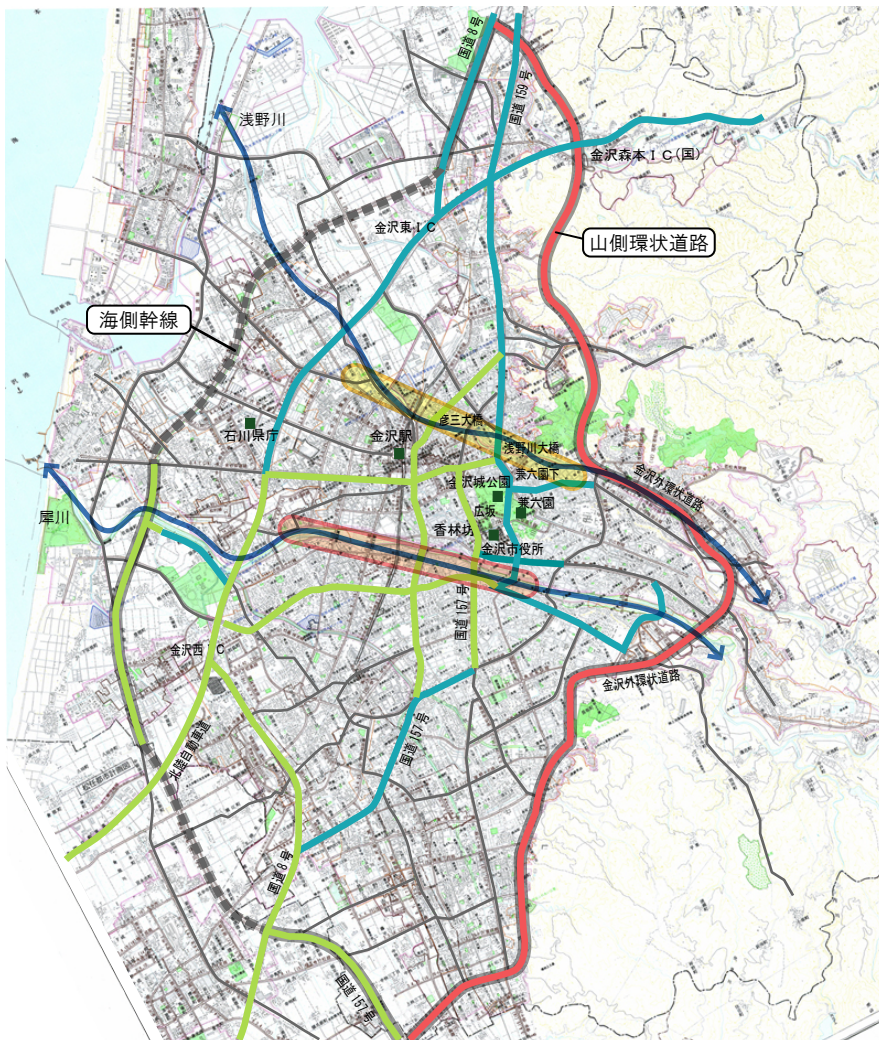
山側環状道路等の整備により、中心部では交通量が減少。

● 都市圏内の主要道路の交通量の推移 (H17-H18)



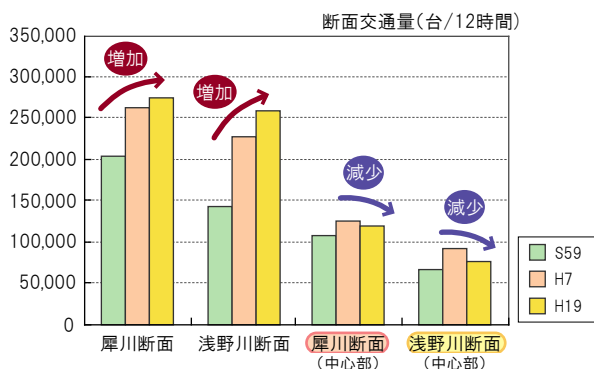
- 山側環状道路など環状道路の整備により、金沢市中心部を通る自動車台数が減少し、混雑が緩和されています。
- 今後、現在整備中の海側幹線ができることにより、国道8号、中心部など市街地内の道路の更なる混雑緩和が期待できます。

資料： 道路交通センサス(H17)
山側環状線供用後交通量観測値(H18, H19)



**犀川、浅野川に架かる橋を通過する全体交通量は、1割程度増加。
中心部では1割程度減少。(H7対比)**

● 断面交通量の推移(S59-H19)



- 犀川、浅野川に架かる橋を通過する全体交通量は、平成7年からH19年にかけて犀川断面(犀川橋～崎浦橋)で約4%、浅野川断面(内灘海浜橋～田上大橋)で約14%増加しています。
- 一方で、山側環状道路の供用により、経路が変化し、中心部の交通量は、犀川断面(示野橋～桜橋)で約5%、浅野川断面(磯部大橋～浅野川大橋)で約17%減少しています。



● 将来自動車交通量予測の結果

海側幹線など外環状道路整備により、都市圏全体の交通混雑は減少すると予測。

計画されている海側環状道路など金沢都市圏内の都市計画道路網が整備された場合の自動車交通による混雑の度合いを予測しました。



山側環状道路(大桑高架橋)

混雑度	混雑度の度合
1.25以上	道路の混雑が日中連続的に発生
1.00~1.25	ピーク時の1~2時間に混雑が発生
1.00未満	道路が混雑することなく円滑に走行

(注) 国道8号と北陸自動車道が平行している区間は国道8号の混雑度を示す。

